

私たちの町議会 りくべっ

No. 97

発行日・令和元年8月16日
編集・議会運営委員会
発行・北海道陸別町議会

第19期 町議会スタート



(令和元年6月24日 6月定例会にて撮影)

令和元年5月8日の初議会で議会の構成が決まりました

議会の構成

総務常任委員会

議長 長 本田 学
副議長 久 保 広 幸

産業常任委員会

委員長 山 本 厚 一
副委員長 谷 郁 司
委員 久 保 広 幸
委員 多 胡 裕 司
委員 中 村 佳 代 子

議会運営委員会

委員長 渡 辺 三 義
副委員長 三 輪 隼 平
委員 久 保 広 幸
委員 多 胡 裕 司
委員 中 村 佳 代 子

十勝圏複合事務組合

委員長 多 胡 裕 司
副委員長 中 村 佳 代 子
委員 久 保 広 幸
委員 山 本 厚 一
委員 渡 辺 三 義

とかち広域消防事務組合

議員 本 田 学

議長就任にあたって

陸別町議会議長 本田 学



町民の皆様にご挨拶を申し上げます。

このたび町議会議員選挙において無投票ではありましたが、私たち8名は地域の代弁者となり、今後4年間議決機関として町政に参画し、推進する重責を担うことになりました。

5月8日に招集されました、改選後の初議会において議会構成も決まり、議員個々がそれぞれのポストにおいて、その機能を十分発揮し、議員各位との連

携を図り、公平・公正な議会運営に全力で取り組みながら、皆様のご要望とご期待に応えられるよう努力する所存であります。

また、当町の人口も2400人を切り、少子高齢化や人口減少などとも同時に進行しておりますが、決意を新たに町民の福祉の向上にむけて、あらゆる分野で行政と議会が本音で議論し、町政の発展と開かれた議会運営に努めてまいります。

これからも町民の皆様方のご支援を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

第2回臨時会 5/8

5月8日に、改選後の初議会となる第2回臨時会が開催されました。

議員の投票により議長・副議長の選挙が行われ、議長に本田議員、副議長に久保議員がそれぞれ当選しました。

常任委員の選任など、その他の議会の構成を決定し、専決処分承認1件、条例改正案2件、人事案件3件を可決し、閉会しました。

副町長の選任

5月8日に任期満了となる佐々木敏治氏の後任として、早坂政志氏の選任に同意しました。

教育長の選任

5月8日付けで辞任する野下純一氏の後任として有田勝彦氏の選任に同意しました。

監査委員の選任

4月30日で任期満了となった監査委員山本厚一氏の後任として、陸別町東一条一区中村佳代子氏を選任する提案が出され、同意しました。



▶ 6月定例会の様子



議員の紹介



たに ゆう じ
谷 郁 司

議席番号 4番
日本共産党 当選5回



く ぼ ひろ ゆき
久保 広 幸

議席番号 3番
無所属 当選2回



み わ じゅん ぺい
三輪 隼 平

議席番号 2番
無所属 当選1回



なかむら か よ こ
中村佳代子

議席番号 1番
無所属 当選2回



ほん だ まなぶ
本 田 学

議席番号 8番
無所属 当選3回



わた なべ みつ よし
渡 辺 三 義

議席番号 7番
無所属 当選2回



た ご ゆう じ
多 胡 裕 司

議席番号 6番
無所属 当選4回



やま もと こう いち
山 本 厚 一

議席番号 5番
無所属 当選8回

(令和元年8月3日逝去)



第3回臨時会 7/12

7月12日に開催された第3回臨時会では、補正予算案1件を審議し、可決しました。

補正予算の主なもの

○スクールバス修繕料

27万円

○歯科診療所医師住宅実施設計委託料

274万円

○観光協会補助金

300万円

まめ辞典

議会の会議録を

ご存知ですか？

この広報誌は約3ヶ月間の議会活動を要約したものです。それとは別に、本会議の全ての発言を記録した「会議録」も公開されています。

過去数年のものに限られますが、陸別町議会ホームページや陸別町公民館でどなたでも閲覧することができます。



6月定例会

陸別町議会 6月定例会は、6月17日、18日、24日の3日間開かれました。今定例会では、専決処分案1件、令和元年度補正予算案4件、条例案1件、意見書案2件、その他3件を可決し閉会しました。

補正予算質疑から

○移住定住促進住宅建設等補助金 1千万円

Q 予算の範囲内での執行なのか、今後補正予算を組む考えがあるのか。時期的に短期間での新築、リフォームになることが予想されるが、今後の進め方については。

A 原則は1千万円の範囲で、今後4年間続けるので計画的に住宅の新築やリフォームを行っていたら、有効に補助金を使っていたらいいと考えている。

Q この補助金から中古住宅購入が外された経緯は。

A 2年間実施したが、中古住宅に関する案件がなかった。築3年以内の中古住宅については、新築同様に経費がかかる想定で要綱をつくったが、町内には物件が無いため、

対象から外した。ただし、中古住宅購入後にリフォームする場合は、この補助金の対象になるので、改修費補助を活用していただきたい。

Q 商店、住宅兼店舗は補助対象になるのか。

A 個人向けの補助制度であり、商店や住宅兼店舗を補助対象とすることは、今のところ考えていない。

○施設整備委託料

212万円

Q 喫煙ハウスはどこに設置するのか。

A 7月1日から健康増進法の一部が施行されるため、役場庁舎裏と道の駅の2箇所に設置する。プレハブの中に集塵機を設置したもので、移動も可能であるため、

今後はイベント等で必要なところに移動することも考えている。

○街路灯改修事業

600万円

Q 全体的な進捗状況と計画が完了した路線はどこまでか。

A 全体で182基を管理しており、平成30年度までに111基が完了し、61%の改修工事が完了した。

今後の計画では、東2条通りの国道から道々までの4基と、東1条中通りの役場の角から町民グラウンドまでの29基のうち、6基が既に完了しているので、今後順次整備していくことになる。

主要事業の概要

○プレミアム付商品券事業

1千943万円

消費税率の引き上げに伴い、所得の低い方々への影響を緩和するとともに、地域の消費喚起を支えるために実施されるものである。

商品券購入対象者は、町民税が課税されていない世帯の世帯員及び3歳未満の子育て世帯主とする。

対象者一人あたり、額面2万5千円の商品券を2万円で購入できる。

令和元年度 各会計補正予算

会計名	補正額	総額	
一般会計	1,935万円	48億 1,487万円	
特別会計	国保直診施設勘定	△ 16万円	3億 3,102万円
	簡易水道事業	251万円	1億 6,943万円
	介護保険事業勘定	197万円	2億 9,772万円

(6月24日現在)

一般質問

渡辺 三義 議員

高齢化社会への 取組みについて

Q 本町の一人暮らしの高齢者の安否確認と緊急通報システムの状況について伺う。また日常生活に不安のある二人暮らしの高齢者世帯への緊急通報システムの設置は可能か。

(野尻町長)

A 安否確認は主に地域包括支援センターの訪問により行われている。緊急通報システムは、現在24件に設置しており、状況により二人暮らしの高齢者世帯への設置も可能である。

Q 本町の在宅の要介護認定者数と在宅者の受けている介護サービスは。また、在宅の認知症者に対する対策について伺う。

(町長)

A 今年3月末現在の要介護1から5までの方は81名。代表的な在宅の方の介護サービスは、訪問介

護、訪問入浴等や短期入所地域密着型デイとなっていて。また町で契約している認知症状の診断のある在宅の方は38名。当町の認知症の予防対策としては「ほっとカフェ」を実施しており、認知症の啓もう啓発として「認知症ケアパス」を全戸配布している。

Q 今後、介護支援事業や特定健康診断等の強化とスタッフの体制作りが必要と思われるが、福祉のネットワーク機能の構築は、順調に進められているのか。

(町長)

A 町民の健康管理について、限られた人員の中で、充実を図っていきたい。ベースとなっている、高齢者サービス調整会議は、診療所の医師などを構成員として、毎月定例会議を実施している。

4月よりスタートした ゴミ分別の現況は

Q 新しく始まったゴミ分別方法の変更後の最近の現況と、町民からの分別に関する問い合わせ及び収集の現況について伺う。

(町長)

A 新しいゴミ分別は、4月のスタートからしばらくの間、ごまごいがあつたものの、収集しなかったゴミの割合も減少しており窓口における問い合わせも、今では1日数件となっており、落ち着いてきている。

Q ゴミ分別については、まだ住民は全て理解したとは言えず、特に高齢者にとってはプレッシャーになっていると思われる。今後は、不法投棄につながるための取組みをどのようにしていくのか。

(町長)

A 今後も町民の要望に応じて説明に向くなど、より丁寧な説明に努め

ていきたい。また、保健福祉センターや社会福祉協議会とも連携のもと、高齢者への不安解消に努めていく。



まめ辞典

認知症ケアパスとは

高齢者人口の増加に伴い、認知症を患う人の割合も増えている状況です。

自分や近親者が認知症になったら、どうしたらよいのだろうと不安になる方も多いのではないのでしょうか？ そのような不安に対して、「認知症になっても、住み慣れた地域でくらすための目安を示したものが「ケアパス」です。

認知症の状態（症状）に合わせた生活の目安、自治体の相談窓口や施設等わかりやすく記したパンフレットです。

「次のページへ続く」

6月定例会では5人の議員が一般質問を行い、町政を問いました。その内容を要約して掲載します。

一般質問

久保広幸 議員

圏域（広域）行政 について

Q 国が取り進めようとしている「圏域が行政を運営する構想」について、その先には市町村の再編を推進した平成の大合併の再現があるものと考えられるが。

（野尻町長）

A この構想は、昨年7月に総務省の有識者研究会が2040年頃の深刻な人口減少を見据えて提言し、圏域への法的権限や財源の付与を求めたもので、これを受けて政府は、第3次地方制度調査会の主要テーマとして、来年夏までに一定の結論をまとめるとしている。当町にとっても、人口減少が進む中で地域の住民サービスを維持するため、市町村の連携強化によって人材不足を補えるなど、行政の効率化に期待する反面、町としての独自性が維持できない懸念のほか、国主導で議論が進むことへの

警戒感を持っている。

簡易水道事業の 将来展望について

Q 国は自治体などが運営する水道事業者に、3～5年ごとの水道料金の検証と見直しを求める方針を定めている。

当町の公共施設等総合管理計画における基本姿勢は、簡易水道事業も独立採算を目指しており、人口減少による収入減と老朽化した水道管の更新費用の工面などが課題となる中で、今後の対応を伺う。

（町長）

A 給水にかかる費用がどの程度料金収入で賄えているかを示す料金回収率については、平成29年度における類似団体の平均値が58%であるのに対して、当町は39%と、大きく下回っており、料金収入では給水に係る費用の半分も賄えていない。人口減少による料金収入の減少に加え、施設設備の老朽化が進む状況に

あり、令和2年度までに策定しなければならぬ経営戦略において、料金の見直しも検討していかなければならない。

中村 佳代子 議員

町民の健康づくりのための 取り組みについて

Q 町民の健康寿命を延ばすことは、医療費削減にもつながるため、健康診断を受けたりして自分の健康に気をつけることが必要である。

そこで町民が健康づくりを行う毎に、ポイントを付与して、そのためのポイントを商品券等に交換する「健康ポイント制」を導入してはどうか。

（野尻町長）

A 子どもから大人まで、町民の運動習慣の定着や健康増進、心身の健康強化に繋がる起爆剤として、有効な手段と考えますので、今後においても関係機関と連携して更に研究していきたい。

Q 冬が長い本町において、冬期間の体力づくりは難しい状況下にある。

運動は、継続することが大切であり、特に高齢者の持続的な運動は、体力だけではなく、認知症の予防にもなる。トレーニング室、ウォーキング室を備えた施設を建設する考えはないか。また、プールは築37年が経過し、子供たちが授業で使用する施設であるため、老朽化している運動施設を含めて、早急に検討が必要ではないか。

（有田教育長）

A 以前、総合体育館の建設の検討もあったが、費用対効果の面から建設には至らなかった。今後、老朽化も踏まえて、施設の再編成も必要かもしれない。町外施設の利用も考えられるが、地域住民が集う、娯楽の場として、ある程度のもものは単独で維持し、改善すべき点も含めて第6期総合計画で検討していく。

谷 郁司 議員

加齢性難聴者に対しての補聴器購入費助成を

Q 65歳を過ぎると年齢とともに半数の方が難聴になると言われている。

また、日本は難聴者に対する公的支援においては、他の諸外国と比較しても、乏しいのが実態である。難聴になったことで、他の人との交流が途絶え、孤立によって、認知症になるリスクが高い状態も考えられる。補聴器は、片耳1個15万円、30万円と高額であるため、利用を我慢している方々もいる、町独自政策として、補聴器の購入に助成をする考えはないか。

(野尻町長)

A 高齢者に対してそれぞれの政策はあるが、難聴に対して公平公正の点から町が独自に助成することとは、現在考えていない。

しかし、助成対策として、町村会に持ち寄って国や道へ働きかけをしていきたい。

十勝オホーツク道と

道々502号の交差する箇所の拡幅について

Q 近年、道々502号(斗満陸別線)については、大型車や大型農業用機械が頻繁に通行するため、通行者を守る上で、現在の幅員では非常に危険である。

カーブで見通しが悪いため歩道を設けて、道々を拡幅することで、十勝オホーツク道と交差するボックスカルバートが広くなり、交通安全につながることから、道に要望してはどうか。

(町長)

A 道路管理者(帯広開発建設部)からは、歩道は歩行者が少なく通学はスクールバスを利用して

るので、新たな歩道を設置する考えはないとのことである。また、現在の道々の幅員は5・5mでボックスカルバートは幅7m、高さ4・7m、長さ25・7mを予定している。設置場所はカーブを抜けた直線の所だ

が、国と道路管理者が既に協議済みであり、通学路の指定がない歩道の新設は難しいとの回答があった。町としては、交通安全上の問題は啓もつを図っていく。

執行方針にある第6期総合計画について

Q 昨年の開町百年のスローガンに「この町で

生きたすべての人の想いとともに、また百年」とある中で、総合計画策定にあたって、若い世代、特に高校生を含めた意見をどのように捉え取り入れていくのか。

第5期の検証と今後のスケジュールは。

(町長)

A 昨年10月に16歳以上

の町民千人を対象にアンケートを実施した。回収率は40%であり、アンケート調査の意見については、「総合計画策定プロジェクトチーム」及び、庁舎内に若手職員の参画を前提とした「ワークショップ」を立

ち上げて検討する。今後は、町づくり座談会を実施し、審議会等において第5期総合計画の検証も含めてまとめていく。高校生からの意見については、アンケート調査で全体の意見は掌握できるものと思っている。また、9月頃には基本構想素案を議会に示し、11月頃までには基本計画素案を策定したい。アンケートの中の意見提言等は、新しいものとして検討のテーブルに載せていきたい。

まめ辞典

ボックス

カルバートとは

高速道路を建設する際に、横切る道路にあらかじめコンクリート等で、箱型の構築物を作り、その中に横断する道路を通しておき、周りに土を盛って道路を造るという時に用いる、横断物のための空間を確保する構造物です。



「次のページへ続く」

一般質問

三輪隼平 議員

陸別町移住定住促進との関連について

Q 陸別町の移住定住促進について、観光振興やPR及び雇用の面で受け入れ態勢はどうか。移住と雇用が直接結びつくことも重要と考える。また「りくべつお宝図鑑」や特にSNS（インターネット）による社会的なつながりを提供できるサービスも有効に活用し、精力的にPRを継続していただく考えはないか。

(野尻町長)

A 移住促進につながるような観光PRとしてはYOUTUBE(動画配信サービス)で見ることのできる「りくべつ夏・冬」等の動画があり、これは移住フェアでも活用している。現状、観光と移住は直接連動せず、交流人口を増やすものである。

雇用促進事業は、町内移住者が条件であるが、現在、様々な理由で町外から通勤

される方にもできれば町内に移り住んでもらいたい。

陸別町住民生活の満足度について

Q 移住者に対しては、私たち、地域住民がその考えや気持ちに寄り添いながら、交流人口を増加させることが大切であると考ええる。しかし、移住定住促進もさることながら、現在の陸別住民の生活満足度の向上について、どのような声が聞かれているか。

(町長)

A 第6期総合計画の策定あたり町民アンケートの結果は、既に広報等でお知らせしている。それに基つき、今後、職員から見た町の強み弱み、地域課題把握のため職員アンケート、また、職員の横の連携の強化、モチベーションや政策形成能力の向上につながるよう、若手職員の参画を前提としたワークショップや「まちづくり座談会」も開催する予定である。

条例・その他の審議結果

件名	審議結果
第2回臨時会(5/8)	
●専決処分の承認を求めることについて(平成30年度 一般会計 補正予算)	承認
●町税条例等の一部を改正する条例	可決
●陸別町国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決
6月定例会(6/17~6/24)	
●専決処分の承認を求めることについて(令和元年度 一般会計 補正予算)	承認
●北海道市町村総合事務組合規約の変更について	可決
●北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について	可決
●北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について	可決
●陸別町介護保険条例の一部を改正する条例	可決
●令和元年度一般会計補正予算(第3号)	可決
●令和元年度陸別町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算(第1号)	可決
●令和元年度陸別町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決
●令和元年度陸別町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決
●工事請負契約の締結について	可決
以下議長発議	
●議員の派遣について〔議員研修会 札幌市2件、網走市、足寄町、札幌陸別会総会〕	可決
第3回臨時会(7/12)	
●令和元年度一般会計 補正予算(第4号)	可決

陸別中学校生徒が模擬議会

6月18日に、陸別中学校の生徒（40名）が6月定例会を傍聴しました。

また、7月11日は、事後学習の講師として、多胡議会運営委員長が議会の役割について講話を行い、生徒からの質問に答えていました。

7月23日は、中学生による模擬議会が開催され、代表者が議員席から「町づくりへの参加、町が目指すイメージや現状及び人口対策、小中学生による特産品開発、運動施設整備」などについて質問し、町の管理職からの答弁に対して、再質問する場面もあり活発な模擬議会となりました。



▲ 中学2、3年生が合同で傍聴



▲ 中学1年生が傍聴



▲ 中学校にて多胡委員長が講話



▲ 事後学習の様子



▲ 模擬議会で質問する2年生



▲ 模擬議会で質問する3年生

札幌陸別会に

出席して

報告者 久保広幸
渡辺三義

7月6日(土)、札幌市内のホテル札幌ガーデンパレスにて第38回札幌陸別会総会・懇親会が開催され、陸別から野尻町長、本田町議会議長及び石橋商工会長他3名が出席しました。今年も伊藤一輔会長ほか、会員と来賓60名ほどが出席される中、総会・懇親会に先だつ



て、名誉会長の田中博信氏から、陸別在任時のことやこの会に関わることになった経緯などについての記念講演がありました。

また、冒頭の会長の挨拶の中で、この会の創立にご尽力され、今年4月に、96歳を以てご逝去された松藤吉太郎氏を偲ぶお話がありました。

懇親会では、昨年9月に開催された開町100周年記念事業のこ

とに加え、現在放映されておりますNHK連続テレビ小説「なつぞら」のロケ地に当町もなっていることから、様々なエピソードが紹介されるなど、盛況のうちに進められました。会員のふるさと陸別への想いは大変に強いものがあつて、私たちはそれを励みにまちづくりに挑まなければならぬことを思い起させられる機会となりました。

議会の動き

【5月】

8日 第2回臨時会

議員協議会

総務常任委員会

産業常任委員会

議会運営委員会

【6月】

13日 議会運営委員会

17日 6月定例会

議員協議会

総務常任委員会

産業常任委員会

18日 6月定例会

24日 6月定例会

議員協議会

議会運営委員会

25日 議員研修(札幌市)

【7月】

6日 札幌陸別会総会

(議員派遣)

8日 議員協議会

12日 議会運営委員会

第3回臨時会

総務常任委員会

産業常任委員会

意見書案

6月定例会で2件を可決し、関係機関へ、その実現を要請しました。

○介護従事者の処遇改善を求める意見書

○新たな過疎対策法の制定に関する意見書

次回の定例会は9月に開催されます。

詳しい日程等は議会事務局にお問い合わせ願います。皆さんの傍聴をお待ちしております。

令和元年8月3日、山本厚一議員が逝去されました。
山本議員は、昭和62年に初当選され、副議長、総務常任委員会委員長、議会運営委員会副委員長を歴任されるなど、28年3ヵ月にわたり町政の発展にご尽力されました。
ここに故人の功績を称え、謹んでご冥福をお祈りいたします。

陸別町議会 ホームページのご案内

一般質問の録音を聞いたり、会議録などの閲覧ができるようになりました。

【陸別町議会ホームページ】
<http://www.rikubetsu.jp/gikai/>